

令和 2 年 9 月 定 例 会 行 政 報 告

1 . 一 般 行 政 報 告

- 1) 要望等について
- 2) 寄贈金品について
- 3) 作況状況について
- 4) 令和 2 年度建設工事の発注状況について
- 5) 町立中標津病院の経営改革について

令和 2 年 9 月 2 9 日

中 標 津 町

貴重な時間をお借りいたしまして、6月定例会以降の行政報告を申し上げます。

1. 要望等について

第1点目は、要望等についてであります。

1) 最初に、根室地方総合開発期成会としての要請活動であります。

2021年 根室地方の地域づくり・総合開発に関する要望・提言として、地域基幹産業の振興と基盤整備の促進、産業や暮らしを支える社会基盤整備の促進、国土の保全、自然環境の保全・整備と利活用の促進、安全・安心な地域づくりの推進、北方領土問題の解決に向けた関係諸施策の推進、教育・文化施設等の整備促進などの重点要望に関して 釧路・札幌・中央の各段階におきまして要請活動を実施いたしました。

6月26日には、北海道開発局 釧路開発建設部、釧路総合振興局 釧路建設管理部に直接伺うことが出来ましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、北海道、北海道議会及び北海道開発局、更には関係各省庁をはじめ地元選出国會議員に対しては、郵送による書面での要請を行ったところであります。

併せて釧根トライアングル整備構想 連絡会議として、釧路・根室圏の人的・物的交流や都市的サービスである高度医療、教育・文化・観光施設等の相互利用及び広域観光ルートの設定、災害に対応した代替性確保など、地域連携の基盤となります、地域高規格道路 釧路中標津道路及び根室中標津道路、北海道横断自動車道 釧路根室間の整備促進などについて要請を行ったところであります。

2) 次に、中標津空港利用促進期成会としての要請活動であります。

前段の根室地方総合開発期成会と同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、郵送により書面での要請を行ったところであります。

「中標津空港の利用促進に関する要望」として、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな打撃を受けている中、地方移住やリモートワークなど、地方への関心が高まっていることから、新たな需要確保に向け、現在の路線を維持するとともに、関西方面など新しい路線開設の検討やコロナ収束後の需要回復に向けた、利用しやすい運賃設定などについて要請いたしました。

3) 次に、新型コロナウイルス感染症対策に係る要請活動であります。

7月12日に、佐藤英道衆議院議員が来町された際に開催されました地元経済団体等との意見交換会におきまして、新型コロナウイルス感染症に係る町立中標津病院の減収対策に対する地方財政措置等の拡充及び特別減収対策企業債の償還期間の延長等について要望したところであります。

4) 次に、医師確保に係る要請活動であります。

7月13日と14日に、北海道大学及び旭川医科大学を訪問し、町立中標津病院の現状と診療体制を報告、地域医療が抱える課題等について意見交換を行い、地域センター病院としての役割と地域医療の確保を図るため、医師の継続派遣について要請を行ったところであります。

5) 次に、北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会としての要請活動であります。

9月27日に、河野内閣府特命担当大臣が北方領土視察のため隣接地域を訪問された際、本町で開催されました関係団体との要望・懇談会におきまして、北方領土返還要求運動の推進、隣接地域における振興対策の推進、北隣協と北方四島との新たな地域間交流の推進、共同経済活動の着実な進展などについて要請をしたところであります。この要望・懇談会には、議長の出席をいただいております。

2. 寄贈金品について

2点目は、寄贈金品についてであります。

お手元に配付のとおり、6月定例会後に、

物品で	8件	
現金で	3件	577,400円
中標津町の新型コロナ対策を応援する町民有志の会		
寄附金で	88件	5,967,000円
ふるさと納税で	2,127件	28,476,000円

の寄贈がございました。

なお、有志の会が呼びかけた寄附金につきましては、8月31日をもって終了したところでありますが、これまでに集まった総額は、

- ・有志の会発起人で22件、 5,000,000円

- ・その他の賛同者として

 - 個人で87件、 3,740,000円

 - 団体等で41件、 6,880,000円

- ・全体で、 150件、15,620,000円

となったところであります。

寄贈金品を寄せられました方々に、改めて深く感謝申し上げます。

3. 作況状況について

3点目は、作況状況についてであります。

根室農業改良普及センター北根室支所が9月18日に公表しました、9月15日現在の各作物の生育状況によりますと、8月から9月にかけては、平年に比べ気温が高く推移し、日照時間及び降水量は少なかったものの、好天が幸いし、作物の生育状況については、作物全般において概ね順調であるとのことであります。

牧草につきましては、生育は順調に推移し、好天により収穫作業も平年より9日早く、順調に進んでいるとのことであります。

飼料用トウモロコシにつきましては、草丈は平年を上回ったものの、茎と子実が細いため、減収が予想されており、すす紋病^{もんびょう}及びごま

はがれびょう^{はがれびょう}の発生が見られ、発生の程度によっては早期の収穫が必要とのことあります。

馬鈴しょにつきましては、生育は平年より 7 日早く、収穫作業も 7 日早まっており順調とのことで、てん菜についても、生育は平年より 6 日早く、根^ね周^{まわり}の肥大も順調とのことであります。

大根とブロッコリーにつきましては、例年 7 月中旬から 10 月上旬まで順次収穫を行っておりまして、ヒメダイコンバエの発生は続いておりますが、品質は良く、出荷量及び価格については、平年を上回り順調と聞いております。

近年の天候は、過去の観測状況が通用しなく、今後も台風をはじめ天候の影響が心配ではありますが、穏やかに豊穡の秋が迎えられることを願っているところでございます。

次に、生乳の生産状況についてであります。中標津町管内の 4 月から 7 月までの累計生乳生産状況では、対前年比 105.2%となっており、昨年から引き続き好調を維持しております。

今年は天候に恵まれており、8 月から 9 月にかけての暑さにより乳量の減少が心配されますが、飼料用作物の収穫、生育が概ね順調に進んでいることから現在までの好調が維持される事を期待しております。また、これから迎える飼料用トウモロコシの収穫時期が天候に恵まれることを願っているところでございます。

農業情勢においては、英国と交渉中でありました新たな経済連携協定（E P A）が大筋合意となったところでございまして、今後も国内外の情勢を注視しながら、両農協をはじめ、各関係団体と連携しながら対応して参りたいと考えているところでございます。

4. 令和２年度建設工事の発注状況について

次に、４点目の令和２年度建設工事の発注状況についてであります
が、令和２年９月１０日現在でご報告いたします。

令和２年度の発注計画は、件数で１３１件、金額にしまして、
２１億７，７３５万円ほどであります。

これに対し、発注状況ですが、件数で１１３件、率にしまして、
８６％となっております。

金額では、２０億３，６６６万円、率にしまして、９４％の発注
となっているところであります。

5. 町立中標津病院の経営改革について

次に、５点目は、町立中標津病院の経営改革についてであります。

現在の町立中標津病院は、一般会計予算の約１０％にも上る繰出し
をし、なお多額の一時借入金を抱え、町財政にも大きな影響を与えて
いることから、病院経営健全化を推進しなければならない重要な局面
を迎えております。

その様な状況から本年４月に町立病院の経営改革を推進するため、
NPO 法人病院支援機構とコンサルタント業務委託を締結するとともに、
自治体病院経営研究の第一人者である城西大学の伊関教授をアドバイザー
に迎え入れ、本年６月３日に町立中標津病院経営改革プロジェクト
チームを発足させたところです。

このプロジェクトチームでは、「医療介護連携」「救急連携」「住民連携」「診療報酬算定強化」「コスト削減」の5つのワーキンググループを構成し、様々な議論を重ね病院経営改革に取り組んでいるところでございます。

また、病床の利用率向上、看護業務の効率化を図るため、これまでの認可病床、一般病床180床、療養病床19床、合計199床を、9月1日より一般病床7床、療養病床19床、合計26床を減床し、一般病床173床へと病棟の再編を行っております。

この内、「継続治療とリハビリテーション」「在宅復帰のための支援」「在宅患者や施設患者の受入」を行うため、3階東病棟の8床を地域包括ケア病床として、9月からの3か月間、申請に必要な実績を積み、来年1月からの本稼働を目指してまいります。

また、将来的には、その後の使用状況を踏まえ、20床までの増床を考えております。

今後も地域医療の中核病院として地域住民に信頼され、地域に必要な医療を提供していくため一層の経営効率化と経費削減、患者サービスの向上に取り組んでまいります。

以上、5点について申し上げ、一般行政報告といたします。